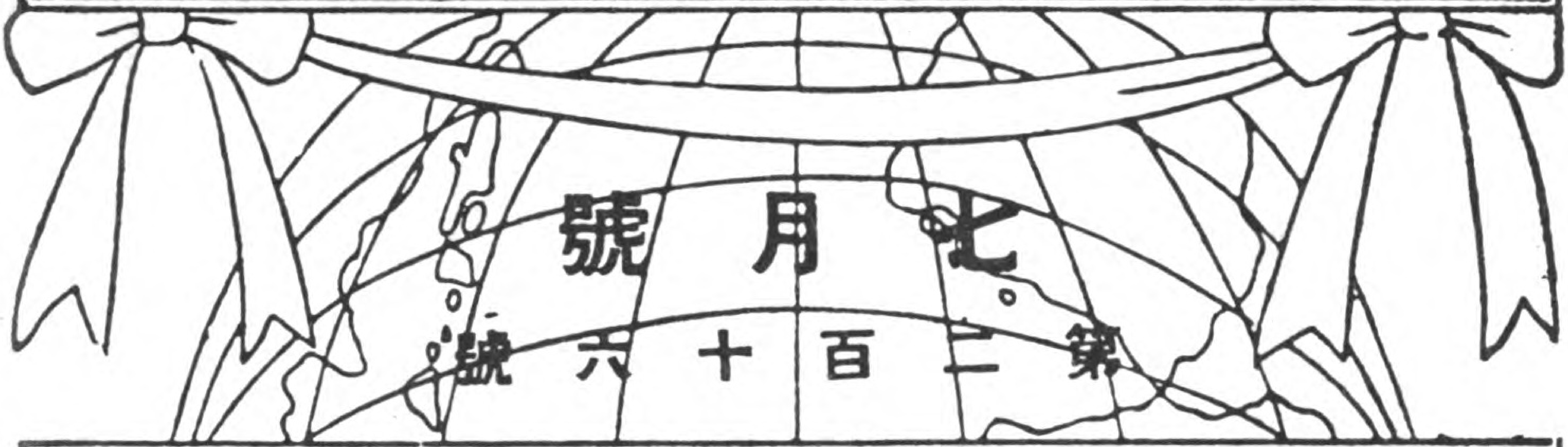
婦人新報



七月號

第二百十六號

婦人新報第二百十六號目次

軍隊と婦人　矢島楫子
矯風漫筆　久布白落實子
新生命　外村義郎
薔薇と婦人の貞操　廣岡淺子
禁酒の斷行　北田朝三
愛宕山より　安中花子
珈琲代用の飲物　K子
お八つのいろ〳〵　松宮信子
はたらき
　文部省を訪ふの記　飯田孝子
　知事並に市長を訪ふ　守屋東子
　各地の青年部　杉本鉞子
各地通信
　本部、水戸、下ノ関、麴町、大阪、弘前、東京各支部
編輯室より　エーエム
英文　杉本鉞子

基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

產婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麴町區飯田町
四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

社告

◎婦人新報定價（郵稅共）
一部（前金） 金六錢
六ヶ月（前金） 金三十五錢
十二冊（前金） 金七十錢
（郵券代用一割増）

◎廣告料
一行（五號活字） 金十錢

編輯及事務所 赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所 電話新橋一〇三六

大正四年六月廿六日印刷
大正四年六月廿八日發行

發行兼印刷人 矢島楫子
編輯人 高原孝
發行所 婦人新報社 東京赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所
印刷所 丸利印刷所 東京神田鎌倉河岸

No. 216. JULY, 1915.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

The Army and Women. Madam Kajiko Yajima.
Fragments on Temperance. Miss Ochimi Kubushiro.
The New Life. Mr. Y. Tonomura.
The Rose and Woman's Chastity. Madam Hirooka.
A Decision for Total Abstinence. Mr. A. Kitada.
A Message from Mount Atago. Miss Hana Annaka.
A Substitute for Coffee. Miss K.
Refreshment Recipes. Mrs. Nobu Matsumiya.
Activities;-
An Interview with the Mombusho. Miss Ko Iida.
Interviews with the Governor and the Mayor of Tokyo. Miss Azuma Moriya.
Work of the Y's. Mrs. Etsu Sugimoto.
Reports;-
Headquarters. Mito. Shimonoseki. Kojimachi.
Osaka. Hirosaki, Branch Unions of Tokyo.
Message from the Editorial Room. M. M.
English Department;-
Current Topics. Mrs. Etsu Sugimoto.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 3, Tameikemachi, Akasaka, Tokyo.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

軍隊と婦人

矢島楫子

△國家の義務に赴く壯丁

矯風會の年中行事の中、七月は特に軍人課に就て研究することになつて居ります。昨年來殆ど世界の列強が兵を動かし、地球上に大慘禍の漲りつゝある今日は一日も早く平和の天地を迎へんことを祈ると共に、各國の國民の爲めに、一命を賭して、その難に赴きつゝある軍人諸氏の上に、深い感謝を捧げ、特に天よりの恩寵の豊かならん事を祈らるゝ事でございます。元來軍隊と婦人とは甚だ縁遠きものゝやうに思はれて居りますが、年々國家の召に應ずる壯丁は、皆母の慈愛の懷に育てられ、這へば起て、起てば歩めと盡きせぬ希望をかけられた者であります。一旦軍籍に身を置くや、一意陛下の忠良の軍人たらんとすると共にまた父母に孝に兄弟に友たらんことを以て、模範の軍人と稱へらるゝのであり、また家庭に於ては國家の義務に赴いて居るこれ等壯丁の上に、常に心身の健康ならんことを祈るのは常に倍する事でありませう。

△所謂乃木式

それ故婦人方が軍隊生活に注意を向けて、折ある毎にその内情を審かにして置く必要があると思ひますわが子は兵士に行つて酒を飲むことを覺えたの、良からぬ處に遊び始めたのと申すことを往々聞きますのは誠に嘆はしい次第であります。それ故多くの人々は兵營といふものがいかにも怖ろしい、冷たい處のやうに

思つて居りますが、今日では軍隊生活と云へば、文明のあらゆる利器が最先きに用ひらるゝ所であり、上官は父の如くに、その士卒を訓育して居ります。所謂乃木式とでも申しませうか、乃木將軍の武士的の魂は、確かに軍人社會に大なる感化を遺し、その風紀の振肅を計る上に與つて力があると存じます。

△初めて兵營の門を叩く

然しながら軍隊生活も生活である以上は、母らしき溫情と、柔かき婦人の慰藉とが加はるのが當然と思ひます。そして乃木式に代るに次第に宗教的感化が及ぶやうになりましたら、今日の武士的魂は更らに走をかけられて、一層光輝あるものとなるに違ありませぬ。これ等は一見云ふべくして行はれぬ事のやうに思はれますが、昔はその門扉を堅く閉ざして、一切婦人の出入を許さなかつた兵營も、二三の熱心な西洋婦人の働らきによつて、これを開くことゝなりました。それは明治二十七八年の日清戰爭當時、ウエスト女史やマコーレー夫人が、傷病兵の慰問を思ひ立ち、日本の貴婦人方及び信仰ある婦人達を促して頻りに軍隊を訪問しやうとしましたが、幾度か拒絶されてその時は止みました。然るに三十七八年の日露戰爭當時は、機運熟して、これ等の婦人は傷病兵の爲めに、或は花を携へて慰問し、病院内で歌をうたひて慰め、無聊に苦しむ傷病兵の爲めに、非常に有効な働らきをしましたので、遂には軍隊の方からも大に歡迎せらるゝ事となりました。

△母なき軍隊生活の慰藉

其の後傷病兵の病院に近い牛込教會等には、多くの癈兵が日曜毎に禮拜に參り、信者になつた者なども尠なからずあつたのを見ますと、確かに婦人等の慰藉は、福音を傳へる爲めに預つて力ありし事と思はれます。これ等は戰時の折りでありますが、平時に於てももし兵營の近傍に、美はしい信仰を持つた婦人が、樂しい家を公開して、外出する兵士等を迎へ、淸い飮み

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

物と、高尚な娯樂を與へてこれを慰めましたならば、必ずその感化は多からうと思はれます。わが矯風會員である十時菊子女史が、曩きに海軍々人ホームを呉に開いて、自ら舍母となり、獻身的に働らいて、之れを經營して居りますが、もしこの種のものが陸海軍を問はず、軍隊所在地の近傍至る所に設けられましたら、必ずや母なき兵營生活に潤ひを増し、婦人の柔かき、高潔なる品性を以て、常に鋼鐵の軍器にのみ親しむ彼れ等に、無限の味ひを與へ、知らず、識らずに心を光明に導かしむることになりませう。

△軍人課の働らきとして

これ等の働らきも個人として營まうとすれば、幾年かその人の出づるを待たなければなりません。然しながらわが會の軍人課の如き、團體の力を以てこれを經營すれば、割合に行はれ易いことであると思はれます。志ある所に道ありで、祈りつゝ熱心に求むる時には、何事でも成し能はぬものはないと信ずる私共は、今日この必要な軍人ホームの事業も、必ず會員の祈りによつて諸所に營まるゝ日を見るのも遠からじと思はれます。「人その友の爲めに死する、これより大なる愛はなし」と云ふ、死を賭して國家の干城たらんことを期する軍人諸氏の上に、私共が出來る限りの感謝と、天の恩寵とを祈るのは、當然爲すべき事であると存じます。

矯風漫筆

久布白落實子

△千九百廿年には全國禁酒

と云ふのが今日米國基督敎婦人矯風會の標語となつて居ります。ウイラード孃が父と兄との投票にゆく後ろ姿を羨ましげに眺めた時代は遠く去つて、數千萬の米國婦人矯風會員は、今や結束して立ち、禁酒法案の錦旗を振り翳して、一州又一州と全米土を酒の毒手よ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り救ひ出さんとして奮戰して居ります。此れが爲めには、新聞雜誌小冊は勿論、講壇より演壇より日夜輿論を喚起し、小學中學大學に到るまで、敎科書によりて酒害を敎へ、懸賞文學によりて考究せしめ、家庭、敎會、學校、社會、あらゆる方面より國民を敎育して、今や禁酒黨は議會に於る一大政黨、禁酒法案は州會、國會に於ける一大法案となり、國民擧つて酒店撲滅に力を盡して居ります。

△露西亞は一日で禁酒國

歐洲戰亂の流す害毒は何を以ても容易に償ふことは出來ませんが、各國とも精を盡し、鋭を極めて戰つて居る丈けに、あらゆる方面に心を濺いで居ります。其結果ニコラス皇帝は、大々的英斷を以て全國に令し、酒類の販賣を禁止せられました。かの厖大なる露西亞帝國も一日にして全國禁酒令の下に住むことゝなりました、チャーチケナン氏等の調査によれば、其の爲め農民全體は過重の戰費を負擔しながら、尙ほ貯金は增加し、衣食住共今までになき進歩を爲しつゝあるとの事です。

△半世紀に渡る米國の苦鬪

禁酒運動が米國に起り始めたのは、南北戰爭後間もないことで最初に該法案を州の憲法と爲したメーン州などは、早や五十年以上の歷史を有して居ります、小さい矯風會が其町で酒屋撲滅の旗擧げを爲し、敗けては新らしい方法を案出し、大人に失敗しては小供に入り込み、二時代、三時代にかけて洪水の如く猛進して今日に到りました。其方法たるや到れり盡せりで、十年前に九州を贏ち得、今年に到つて十八州となり、明年までに更らに七州を加へんとして居ります。久しく夢として一笑に附し去られた全國禁酒法案の實施を見るも遠からぬ事と思はれます。

△感謝に堪へぬ決議案

去る四月京都に開かれたる我國婦人矯風會大會の

席上に於て今後六年を期し、公娼全廢を議會に請願する事の一議案が可決されました。私は一會員として、又日本婦人として實に感謝に堪へません。公娼全廢を當の目標として、僅か三千でも我々會員が、悉く結束して立つときは、我等の後ろには十萬の基督教徒あり賢明なる閣員及び大隈首相あり、我等を助くる天の父あり、この決議が終ひに一つの事實として現はるゝ日の必らず來る可きを信ずるものであります。

△公娼全廢は第一步

公娼を廢すれば密賣が增へると云つて之れに反對する人があります。然し世の中に誰れも盜賊が斷えぬと云つてどろぼう公認を主張する人はありますまい。盜人は物を盜む丈けですけれど、娼婦は人の身體と魂とを盜みます。人格どろぼうです、これ程恐ろしい盜人は有りますまい。此れを公認して置かねばならぬと云ふは實に怪しからぬ話です。唯習慣の力！實に三百年來の習慣の力！　これが我が日本國民の心を痲痺させて居ります。それ故火を熱いとも感じないのです、我々は是非醒めて立ち、渾身の力を込めて公娼全廢を叫ばねばなりません。叫んで叫んで、我が國民の惰眠を覺し、是非速やかに之を斷行せねばなりません。公娼全廢はほんの第一步です。

△各國皆道義の戰

露西亞は壓制國、半開國と英國人士間には共に齒するを恥ぢた人々があつたにもかゝはらず、此度の戰亂となるや、先頭第一全國に禁酒令を施いて終ひました。英皇室は之れを見て、國民に先んじて、皇室に於ける禁酒を斷行せられました。米國は金もあり、土地もあり、平和もある、世界の豪家にも拘はらず酒屋全廢の戰鬪には一日の安逸も貪つて居りません。獨逸もそろそろビールの害毒に感づいて、この方面の戰鬪を開始して居ります。各國皆體力と腦力と品格と三拍子揃つた人物を造り出す爲めに、之れを打ち碎す最大敵たる酒を驅逐することに苦しむことは前述の通りです。我

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

國では禁酒などは未だ輿論の端にも入つて居ません、漸く公娼撤廢位の處をまご〳〵して居る時代です。然し我國に於ても禁酒會の如き又廓清會の如き團體が生れて、東京、大阪等中心に在つて全國に多少なりとも道義の戰ひの旗擧げを爲すことは祝す可きことゝ思ひます。

△今後起る可き世界人格戰

世界は實に狹くなりました。一國の新聞が世界の新聞となり一國の輿論が世界の輿論となり、又一國の人物が世界の人物となります。國の高下は其國が世界の市場へ提供する者の高下によつて定まります。綿でも米でもはた製造品でも相手は皆世界です。此の度の戰亂がどうゆふ風に片付くかは、今日の疑問ですが片付いた曉には、世界は必らず今一層近くなるには相違ありません。文明の衣を脱いで、赤裸々になつて各國人が相接したあと其長短が一しほ明かに見ゆるは爭はれぬことゝ思ひます。この場合第一に起るは人格の競爭です、一番體力も強く、頭腦も明晰で、そして品格の高い、頼み力のある人物が押されて兄となるは當然です。たとひ國は少さくとも例へば白國のバンダビルドのやうな人は、國なき國の宰相でもやはり歐洲の天地に重きを爲して居ります。飲料には純潔なる水、食物には新鮮なる、滋養物、思想は天地に通ずる穩健なる道義の大法に則り、天父を神とし人類を兄弟とする偉大なる信念を以て心を錬り、堂々たる堅固なる人物を鍛ひ上げて國家に捧獻することは今後我々婦人の大なる任務と云はねばなりません。來らんとする世界人格戰に於て、勝利を占むるに到つて我國も始めて東洋に於ける天與の使命を全うすることが出來ませう。

（五月二十日稿）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新生命

外村義郎

それ我儕が聞また目に見懇切に觀わが手捫りし所のもの、即ち元初より在し生命の道を爾曹に傳ふ。この生命すでに顯れたれば、我儕これを見て證をなす。即ち原父と偕に在し者にて、我儕に顯れたる窮なき所の此生命を爾曹に傳ふ――約翰第一書一〇一二

△未だ價値を知らず

私共の信ずる基督敎は、生命を與ふる宗敎であります。只善い事を爲よ、惡い事を爲すなと云ふ丈けではない、またエス、キリストのやうな立派な人格を手本としてこれに倣へと云ふ丈けでもない。も一つ奧深く精神的に靈性的に新生命を與へるのであります。聖書殊に約翰の福音書を見ると、生命を與へよ、生命をうけよ、生命を得べしと云ふことが諸所に書かれてある私が初めて聖書を讀んだ時、「信ずる者は生命を得べし」と云ふ言葉に至つた時、何となく有難いが、その意味が解らなかつたのであります。御同樣に限りなき生命といふ言葉はこれ迄餘り使はず、從つてそれが如何なる意味か解らず、只有難さうであるが飛び付く思ひは致しません。これは丁度、今から六七十年前に、私共にダイヤモンドを與へやうと云ふ人があつてもダイヤモンドといふ名も聞いた事がなく、從つてどんなものか解らぬので、飛び付くものはなかつたらうと思ふが、それと同じである。然しもしその當時眞珠をやらうと云ふ人があつたら、人々は何を差し置いても走せ集まつたらうと思ふ。かやうに限りなき生命の内容の解らぬ者が之れを與へると云はれても切な感の起らぬものは、寧ろ無理からぬことである。

△永生とは如何

限りなき生命とは如何なるものであらうか。元來生命とは四角いとか丸い、黑いとか、形や色を以て說明することが出來ぬむづかしい問題であります。然しざつとこれを說明すれば、限りなき生命は限りなき死の反對であります。聖書の諸所に、人間は神の前に罪を犯して既に死んだとある後ちに、只信ずる者は生命を得べしと云ふ事がある。之れを見ても限りなき生命は滅びの反對と云ふことが出來る。或る人々は限りなき生命とは靈魂の不滅をさすといふ。然し靈魂は信仰を持てる者も持たぬ者も同じく不滅である。限りなき生命とはこの不滅の靈魂が祝福せられ、更らに新らしくせられることであると思ひます。之れにつきエス、キリストは如何なる解釋を與へて居らるゝかと云ふに、實に一言以て完全にその內容を說明せる巧妙なるものであります。卽ち「永生とは唯獨の眞神なる爾と其遣しゝイエスキリストを知る是なり」とあります。

こゝに知るといふ文字がありますが、これは畢竟愛すると云ふことであらうと思はれます。

△知るはやがて愛する事

知るといふは愛する事であるといふことにつき、自分のつまらぬ事から幾分の經驗を得ました。今から二十二年計り前、私が北海道の石狩に傳道をして居りました時に、或る巡回者が來つて說敎をすると云ふのでその交渉をしなければなりませんでした。その巡回者は五里許り隔つた月形といふ或る人の農場に滯在して居りましたが、事が明日に迫つて居るので、どうしてもその日の暮れ方から其處迄行かなければなりませんでした。當時は石狩川を渡つて、月形の農場に行く道は、一體の曠原で、人家とては僅かに一二軒あるのみで、左から右に、右から左に大きな熊の足跡がある、極めて淋しい處でありました。丁度こゝら邊にさしかかつた時はもう日はとつぷりと暮れて、眞暗な道を提灯を持たずに辿つて居りました。すると自分の先きに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人の行くけはひがするので、何んであらうかと氣味惡く思つて居ると、やがて姿が見えなくなつたと思ふと今度は後ろの方から足音が聞える、愈〻危しいと思ひ、この邊にある集治監からよく脫監囚があつて亂暴を働らくといふから、もしやそんなものではあるまいかと思つたが、然し自分の持つて居るものは聖書位で別に取られるものもないからと臍をきめて歩いて居るとやがて後ろから聲をかけて、「失禮ですがあなたはどこに行らつしやいますか」と云ふので、月形の農場に行く者であると答へると、また「失禮ですが何を爲さるお方ですか」と尋ねます、自分は牧師である旨を告げると、ほつと呼吸する音が聞えて、話し初めるには、自分は月形村の酒屋の主人で、今日晦の掛取りに石狩迄行き、遂用談で遲くなつて淋しい道を氣遣つたが、まあ人通りも無からうかと安心して出かけて來ると前に人の足音が聞える、てつきり危しい者と考へ、一つやり過して後とから行かうと、傍の林に逃げかくれて後とになつたが、何處迄も一つ道を行くやうであるから失禮とは思ひましたが尋ねて見ますと、月形に行く方で、牧師さんだと伺つて安心しましたと。それから二里計りの道を語り續けて、愉快に目的の地に着いたことがありました。

△エス、キリストを知れ

我々がエス、キリストを知らぬ前は、互に暗を隔て道を行く人の如くであるが、一旦知り合ふ時は、不思議な關係が出來て、一種の生命が通ひ、恐怖心は除かれて、これと親しみ、且つ相愛する念が生ずる、かやうな生命が我れ我れの心に注がれた時は、我れ等は惠みを受ける幸福なる域に達することが出來ます。而して生命が心に注がれることによつて、我々の精神、靈性は非常な勢を以て進歩發展します。我々の宗教は進歩發展の宗敎で之れは他の宗敎と趣を異にする處であります。進歩發展するとは神とエス、キリストに就ての經驗が深くなることであります。私は各地を巡回して、信仰上の經驗談を交換する時、多くの人

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が神に就ての經驗が漠然として居はせぬかと思ひます。これは何故であらうか、エス、キリストの事が眞實に解らぬからであります。エスは神の獨り子、神人となりて現はれ給ひ、十字架上に人類の罪を贖はんが爲めに寶血を流し給ひ、三日目に蘇りて四十日の後昇天し給ひ、今日もなほ生きて我れ等と共に働らき給ふその事實が人々の頭に朦朧として居るのであります。六年前世界傳道に選らばれて、二月から八月迄絶え間なく各地を巡回して、千六百名の求道者を得たことがありましたが、またこの運動は古い信者の間にも意外の力を與へ、某地で五日間の傳道説教をした時に、その地の郵便局員をして居る一人が私の宿屋について來て涙ながらに云ふには、自分は八年前に受洗したが、今日のあなたのお話にあつた所謂基督教の賛成者であつたのみでしたが、今日といふ今日、眞實に生れ變りを經驗したと申したことがあります。年々歳々各派教會の人數は殖えて居りますが、集會を見れば依然として同じ人數のあるのみで、行衛不明の者さへあります。これ等の人々は初めこそ牧師の説教も珍らしく、信徒の交際もたのもしいものに思ふが、暫らくして説教にも飽き、信者の暗黒面も知れて來るので、次第に教會にも遠ざかり、信仰も冷却して來るのであります。これ等は畢竟エス、キリストの事がよく解らないからだと實驗上から考へます。卽ちエス、キリストを知つて神の事が我々の上に鮮やかになればなる程、惠みに惠みは加へられ、精神、靈性上の進歩發展を得るやうになるのであります。

△正義と善を爲す自由

次に限りなき生命を得ると、自分を衞る事が出來ます。御同樣人間は自分の心を守ることは眞に困難なことで、或る人が心とはころ〳〵と轉るから心と云ふのであると云つたのは、單に諧謔とのみ見ることは出來ず、誠に眞理であります。箴言に「おのれの心を治むる者は城を攻取る者に愈る」と云ふことがあり、古い言葉ではあるが、山中の賊は恐るゝに足らず、心中の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

賊は恐るべしと云ふが如き、皆わが心の支配し難きを申して居ります。單に心を治むるのみならず、更らに進んで善い事をすることが出來る。パウロの云へる如くわれ等の心の中には二つの律があつて常に闘つて居るが、限りなき生命を受けるとその力で誘惑に打勝ち爲すべき善事を爲す自由を得るのであります。私が或る地方に行つて感じた事は、今日は善は事、正しい事を却つて惡い事、正しからざる事よりもコソ〳〵として居る事であります。其の土地の牧師が、洋行時代に親しくして居つた紳士が縣知事になられたので、早速訪問して、自分の仕事をも見てくれるやうに、次の日曜には是非教會に來て説教を聞いてくれるやうにと云ふと、必ずさうしやうといふ約束が出來た。やがて日曜になると牧師は今日は知事閣下が見えるであらうと心待ちに待つて居るが、どうも見えない、その中に讃美、祈禱、聖書朗讀をして愈ゝ説教に進んでもなほ顏が見えない。禮拜が終つて牧師は執事に「今日は知事さんが來られる筈であつたが、とう〳〵見えなかつた」と云ふと「ナニ來られましたが、初めの讃美歌をうたつて居る時に來られ、こつそりと二階に上つて柱の影に身を匿して、説教を聞いて居られ、終りの祝禱の折りに急いで歸られました」と云つた。この知事さんは教會の近處にある公園の料理屋に上つて宴を張り、盃を取り交はし、醜業婦を侍らして、多くの人々と遊興するが、かやうな席には玄關から大手を振つて出入される。而して苟も神の道の述べ傳へらるゝ教會には人目を忍んで出入された。かやうな例は今日の社會には稀らしくはない事で、たとへ基督教でなくとも、自分の信ずる論語なり、佛教なりを四つ辻に起つて傳道する事は耻ぢても、醉眼朦朧として大道をよろけて歩き、或は二人の妻を持つ事を敢へて耻とも思はぬといふ不思議な現象を呈して居ります。かやうに善、正義を行ふ上には力を缺いて、却つて不道德の方には勇氣がありますが、然し限りなき生命を持てば、心を置くべき場所に置いて、正義、善を爲す自由を與へられます。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△惠みに惠み加へらる

第三に限りなき生命を持てる者は、周圍を同化する力があります。卽ち眞實に傳道が出來るのであります。傳道は單に口の先きで聖書を說敎し、或は人の爲めに奔走するのみではいけない、生命を與へなければなりません。「キリストも生命の言葉を爾に傳ふ」と云はれました。道とは生命の謂ひで、もし傳道に生命の分與がなければ、其の意義をなしませぬ。第四に限りなき生命は我れ等の品性を淸めて、やがて人格、德の花咲き實をなすのである。

以上を綜合すれば、人に限りなき生命があれば、恰も植物が地を得て、成長繁殖し、花咲き實るやうに私共の精神は進步發達し、自らを衞り、周圍を同化し、また品性を淸めて人格を高め德を積むことが出來ます。人間の死する時は富も、名譽も持つて行くことは出來ない。只その人に備つた品性より外はない。その尊い寶を我れ等に與ふる限りなき生命は如何にして身に占むることが出來るでありませうか。

△授くる道と受くる力

これには二つの方面があります。卽ち授ける方面と受くる方面であります。これを授ける者はエス、キリストであります。私共が宇宙萬有の現象を見る時、一種の生命の働らきを感ぜざるを得ません。今日オイケン、ベルグソンに次いで世界に名高きタゴールは、或時舟に乘つてガンヂス河を遡つて行くと、水面はさながら水銀を流したやうに滑らかであつた。忽ち一匹の魚が躍り上つて、その鱗は日を受けて金色に輝いたのを見て、生命の潑剌たるを見たといふことでありますが、自然界に充ち滿てる生命は、一匹の魚の躍る中にも溢れて居るのであります。この生命はどうして與へらるゝか、或は禪學によつてと云ひ、或は靜座法により、或は自然の一部を凝視することによると云ひます。これ等によつても幾分の生命を與へらるゝには違ひありませぬが、然し何れも漠然たるものであります

約翰傳に云へる「永生とは唯獨の眞神なる爾と其遣しゝイエスキリストを知る是なり」と云ふほど明瞭に、且つ巧妙に說れたるものはありません。水は東京市中何處に行つてもあるが、生活を助くる水は、鐵管を傳つて來る水道に勝れるものはなきやうに、宇宙には神の生命は充ち滿ちて居るが、エス、キリストによつて傳はれる者が最も完全に生命を運ぶ道であります之れを人間の方から見れば信仰も、一層深く云へば愛に於ける信仰によつて受くるのであります。愛は精神生命が信じ合つて居る時交通するもので、丁度古木に新らしい木を接木するやうなものであると云つた人がありますが、いかにも眞實であります。私共の古き我れは切り去られて、新らしきエス、キリストの生命に接がれて、初めて生々した生命に向ひ、惠みに惠みを加へらるゝ生活に入ることが出來るのであります。

薔薇と婦人の貞操

廣岡淺子

愛は大水も消すをあたはず、洪水も溺らすことあたはず、人その家の一切の物をことごとく與へて愛に換んとするも尙いやしめらるべし——雅歌八〇七

△薔薇の刺は尊きもの

「梅の香りを櫻にもたせ、枝垂柳に咲かせたい」といふ俗謡がありますが、いかにも穿つた話で、爛漫と薄紅の霞のやうに棚曳く櫻の花は、まだ見ぬ人には想像も出來ぬ美しさでありますが、惜しい事には香りが無い、艶麗といふ點からは遙かに劣つても、霜雪を凌いで、初春の空にゆかしい香りを放つて咲く梅に多く

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の人が心ひかるゝのも無理ではない。そこでこの馥郁たる香りを櫻に持たせ、容姿やさしい枝垂柳に咲かせたら、いかにも理想の花が得られやうと云ふのである。その他東洋には牡丹とて、花の王とも云はれる豐麗比ふべきものも無き花があります。しかも私は薔薇にまして愛すべき花はあるまいと思ひます。薔薇の中でも殊に雪を欺く太白の大輪は美の極、愛の極であらうと思ひます。人によつては薔薇にもし刺がなかつたらと云ふ人がありますが、私はこの刺が實に尊いものであると思ひます。御承知の通り薔薇のやうな植物には、その色と同樣な所謂保護色を持つたいろ〳〵の虫が付きまして、折角咲き誇つた花瓣を食ひ破り、みづ〳〵

東京市内各支部聯合親睦會

しい莖を傷け、葉を食ひ荒します。薔薇に刺のあるのは此忌はしい害虫を防ぐ爲であります。

△ソロモン王と田舍娘

私は世の婦人が丁度この薔薇の花のやうになりたいと思ひます。其の色香は太陽と露とに輝きて馥郁たる香りを放ち、さながら純潔の處女が神の愛を受けて一層その美をませるが如くであります。たとへ其色香はいかに人を魅する力がありませうとも、一朝わが身を害ふ誘惑が襲ひ來つたら、決然としてこれを拂ふ、武器を備へて居らなければなりません。即ち婦人がいかに優にやさしくあらうとも、わ

が貞操のみは他人に一指をも觸させてはなりません。

近來は東西共に自由戀愛などいふ未熟の思想が入つて婦人の貞操を輕んずる傾向になつて參りましたが、これによつて婦人が解放されたと思ふのも誤りであるのみならず、婦人が貞操を重んじないのは、婦人自身の大なる損失であります。昔の婦人は萬一の場合に處せんが爲めに、常に懷に九寸五分を藏して居つて、いかなる高位高官でも、わが身を犯す者は、これを突き刺すに躊躇しなかつたのであります。もし腕力で及ばぬ時は、舌を嚙み切つても其の誘惑を逃れました。雅歌に歌はれて居りますかの榮華の極みを盡したソロモン王が、名も無き田舍娘に戀慕して、これをわが手に入れんとしたる時、この處女は既に許嫁せる年若き牧羊者の上を思ふて、遂にその權勢にも屈せず、美はしき貞操を完うする事が出來「愛は大水も消すことあたはず、洪水も溺らすことあたはず、人その家の一切の物をことごとく與へて愛に換んとするとも尚いやしめらる」といふ純潔の愛の手本を殘しました、これは丁度太白の薔薇を手折らんとして、刺にその手をつかれたにも似て居ります。

△永遠に凋まぬ愛の花

この花の如くゆかしく、しかも嚴然たる威嚴を備ふる婦人はどうして養はるゝでありませうか。單に婦人が容色才能に秀でたりとしても、それは造り花の如く何の生命も無く、從つて人の感興を永く惹くに堪へません。これにゆかしき香りと美はしき光彩とを與へるものは、實に太陽の如く輝く神を知ることでありますまたこの神の最高權現として、この世に現はれ給ひ、我れ等の爲めに十字架上に血を流し給ひしエス、キリストの限りなき愛を悟ることであります。而して初めて永遠に凋まぬ美はしき愛の花を咲かせて、しかも權勢富貴も亦奪ふべからざる威嚴を備へることが出來るのであると思はれます。純潔にして汚れなき愛は、獨りこの境に達したる者の持つべきものであると思はれます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

禁酒の斷行

某新聞記者　北田朝三

△幾度か禁酒を思ひ立つ

私は非常な大酒家で、社から歸つて膳に向へば直ぐ杯を手にして、十一時頃迄は飮み續けるのは普通であり、客でもあれば夜の二時頃迄も杯を放さず、相手變つて主は變らず、三遍位杯盤を變へる事は稀らしくありませんでした。醉へば自己を忘れて、刃物三昧をするといふ風で、酒の臭ひさへも嫌いな妻は、傍で酒をあほられるのさへ大抵ではないのに、酒癖の惡い私の爲めに、どれほどの迷惑を蒙つて居つたか解りません。醉ひが醒めては、さすがに自分の行爲を耻ぢて、どうかして止めたいと思ひ、幾度か禁酒して見ましたが、仕事に疲れた夕べや、又は酒好きの友人等と交際しなければならない折に、いつも誘惑に陷つては再び酒に溺れて終うのが例でした。

△わが娘の酒宴の摸倣

然るに或る日二階で書物を讀んで居りますと、六つになる女兒が階下で近所のお友達と、まゝ事をして遊んで居りましたが、やがて酒宴の摸倣を始め「私がお父さんになるわ」とて「お酒を持つて來い」「こんな肴では食へない」「早く持つて來んか」などゝ頻りに私の聲色を使つて居るので、われながら子供に自分の姿を生き映しにされて見ると、今更ら身の置き所もないやうに耻かしく、それはともあれ、女兒さへもこんな事をして遊ぶやうなら、この家に育つ男兒の將來は思ひやられる、學校でいかほど心を籠めて敎へられても、父がかやうな惡い手本を示して居つては到底人間になれやうもなからうと思ふと、悔恨の念は止め度もなく湧くのでした。然しこれでもなほ酒を止めやうとはせず、或る日友達と酒興に驅られて、一晩中家に歸りませんでした。妻は寢ずに私の歸るのを待つて居りましたが、私は家の門迄來たが門內に入る勇氣もなく妻に

は氣の毒であり、我が身の腑甲斐なさを熟々と悔みました。毎度の事とて、辯解の仕様もなく、禁酒を契つても信用されぬと思ひましたから、どうかして今度といふ今度、心の底から悔悟して居るこの情を表はしたいものだと考へました。

△酒と兄弟の煙草も止む

そこでその日家に入ると先づ第一に德利を皆碎いて終ひました。私はこれ迄諸所に旅行しますと、先づ目につくものは德利で、土産にはいつも大金を投じてこれを買つて來ましたから、九谷などいふ立派なものが十本近くもありました。祕藏の德利がメチャ／＼になるのを見て、私は斷然禁酒する旨を妻に宣言し、今迄は外に契ふなどいふことは大嫌ひでありましたが、自分の意志丈けでは不安心と思ひましたので、妻と共に附近の禁酒會に行つて入會して契約書を書きました。さあこれからは如何にして、これを持續しやうかといふ問題であります。元來酒と煙草とは兄弟のやうな關係があつて、宴席などに行つて煙草を飲むと、咽喉が、醉つたやうな氣持ちになり「えゝ飲んで終へ」と云つて、杯を手にするやうになります。それ故酒に誘ふ煙草もこの時から斷然止める事にしました。人は禁煙するとその亡骸なる煙草入れや煙管を見えない處に投げ捨てますが、私は意志の鍛錬の爲めにと、わざとこれ等を目に見える處に置き、見る度に戒めを更らに强めるやうにしました。一方にはまた禁酒した事を出來る丈け廣く發表し殊に酒の友達にはよく／＼言渡しました。宴席に出ました節は、第一に禁酒を宣言します。

△斷行に伴ふ惡戰苦鬪

然しこれを斷行するには、なか／＼惡戰苦鬪が心の中に行はれます。殊に酒好きの長上に會つて、久し振りで一杯やらうなどゝ云はれた時は、意に逆はぬやうにしてこれを斷るには骨が折れます。初めの中は道を歩いて目につくものは煙草屋でありました。電車の中の酒の廣告を見ても飲み度くなり、ウヰスキー等を並

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らべてある店先きを通ると、飛びつき度い程でした。西洋料理屋や涼しげな二階屋を見ると、今迄ならさう云ふ處で好きな酒にわれを忘れて樂しんだだらうにと思ふと、一種の悲哀を感ぜずには居られませんでした。仕事から歸つても、着物を脱いで、直ぐ膳に向はないと、飮み度い飮みたいといふ念がムラ〳〵起るので、歸るが早いか膳を用意して貰いたいと妻に注文し妻も亦怠らずに注意してくれましたので、何時も膳に向つて往生をして終ひました。とにかく少しの暇があれば飮み度いといふ念が頭をもたげるので、成るべく暇のない工夫をし、飯を食べたら、茶を啜るとか、水菓子を食ふとか、家族團欒して話をし、或は用事に沒頭し、讀書して氣を紛らしました。二日過ぎ、三日經つと餘程樂になりましたが、今迄食ふ事に左程興味のなかつた者が、この頃から非常にいやしくなり、殊に甘いものを欲するので蒸菓子などは絕やさずに買つて置くことにしました。

△氣は輕快に心は光明に進む

一と月二た月と過ぎた昨日今日は、もう自分の心を劬勞らないでも、大丈夫といふ氣がして來ましたが、まだ油斷はなりません。禁酒したのが四月十日でしたから、月々十日には紀念日として、家族と共に茶菓を喫し、或は手輕い料理を共に食してこの日を覺えることにして居ます。今では酒を飮まぬ爲めに非常に氣樂になり、時間の上にも、經濟上にも餘裕を見るやうになりました。酒飮みは大厨利己主義のもので、自分の事計り考へて居るものです。それ故今迄ならば三味の音を聞くとか、歌を手にするとかすれば、どうかして自分もその仲間に入らうと苦心し、同じ飮むにしてもどうして、誰れと飮まうか、金はどうしやうかと苦心する、これが快樂を待つ前の苦しみであつたにせよ、禁酒した今から見ると非常に重荷であつたが、今はそれが無くて、肩の輕いやうに思はれます。尙は今迄酒に費した永い時間が節約されるので、讀書でも仕事でも充分にする餘裕が出て來まして、氣は常に輕快に、心は光明に向つて進んで行きます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

愛宕山より

安中花子

A様。御無沙汰のしつゞけ致しましたこの一と月私は獨りしきりに色々の本をあさつて暮しました。

シト〳〵と胸の底まで浸み入りさうな雨、甲斐の山山はうつたうしい雲に包まれて居ります。今日で六日目の芍藥はやるせなげに机の上にうなだれて居りますそして私の目は見るともなく其處に置かれてある一冊の本の上に落ちました。

「カウンテス、カサリーン」カサリン姫―イーツの書いた戯曲の一つで御座います。讀み終つた今日、ジーッと思ひ返して見ればそれ程大した場面の變化とか曲節とか云ふものゝ有つたのでも御座いませねど、何か一種の凄氣に打たれながら私はこれを讀み續けて參りました。

「魂を黄金に代へる」―人類の無智が時々刻々に醸して居る悲劇では無いでせうか。取り立てゝ言ふには餘りに普通な出來事である、それ丈け、ジーッと考へて居りますとそら怖ろしさに打たれます。

一年アイルランドに恐ろしい飢饉が起りました。然らぬだに日頃乏しい生活に苦しむ農夫共は、終には家具さへも糧の料に代へ果てゝ、今は痩せ細つた身體一つを持てあまし、死にも勝る苦痛に泣く境遇におちいりました。家とは名のみの小屋にうづくまつて飢に泣く家族三人、母は苦しみの中にも天父に信賴して居た善良な婦人で御座いましたが、恐ろしい力でヒシ〳〵と身をおそふ餓ゆゑに父と子は終には神の御名をさへ呪ひ初めました。其處へ現れたのがサタンの下につい

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て人類の魂を永久の沈淪へと誘ふ暗黑の使、二人の商人の姿に身を代へて「果して實際に有るものやら無いものやら其存在さへ確かには知れぬ風の樣な魂」一つづゝのために數千の價をもたらして參りました。

慈愛の母、貞淑な妻の悲痛をよそに見て父と子は足も苗にこの惡魔がもたらした甘言を村中にと傳へ廻りました。肉の命を惜しんで、靈の命をかへりみず、刹那を知つて永遠を知らぬ無智の人々は我も〳〵と滅亡の使の許へと集ひ寄つたので御座います。

我と自ら進み寄た沈淪の淵の岸に立つて、未來永劫の暗黑をも知らず顏に己が魂の價を得ようと狂ひ叫ぶ無智の人の子を見た時のカサリン姫の苦悶は如何ばかりだつたでせう。有りと有る己が財寶を賣り拂ひました、そしてこの人々の魂を買ひ戻したので御座ます。

然し限りのある金銀で何時まで多くの人々の饑がしのげませう。哀れな人々の眼はともすればまたも沈淪の淵の方へと向けられるやうになりました。そしてこの人を救ふべく、この人々の饑を滿たすべく、姫は自分の魂を罪深き商人の手に渡して莫大の黃金に代へました。そしてあへなき最後を遂げたので御座います。何かして姫の行手に禍の橫たはれるを直覺しては心も心ならず、禍多き世をのがれて森の奧へ〳〵と呼ぶ姫の忠實な戀人、いとし主人の上を氣づかひ、民の無智を憤る忠義な乳母、かうした人々も哀深くゑがき出されてあります。

讀み終つた今日私は一種異樣な感に打たれて居ります。魂を黃金に代へる―之こそ人類千古の悲劇で御座います。ユダは銀三十と己が魂とを代へました。

エルサレム初代教會のアナニアは己が財產の半ばゆゑにあの恐ろしい最後を招きました。現に今此の瞬間私共の同胞の幾千人、幾萬人はこの情ない取引を致して居る事で御座いませう。

雨が止みました。あなたも曾て一週日を御過しになつた事のあるこの甲斐の國、今日でもはや二月を私は此の「山の上の家」に暮しました。雨の晴れ間を裏の公園にでも行つて見ませう、そして野ばら匂ふ道にあなたの夢の跡を偲んで參りませう。

珈琲代用の飲物

K子

最近平尾直太郎氏が、多年苦心して大豆を以てカフエインといふ有害素を含まずして、珈琲の味と滋養分とを備へた人造珈琲を發明されたと申すことでございますが、玆に數年來私の家で使つて居ります珈琲代用の飲料を御紹介致します。これもやはりカフエインを含まずに、味は珈琲に劣りませぬ。碾割麥一升に臼下、一斤あればよろしいので、製法も至つて簡易です。先づ碾割をよく洗つて水をきり、テンパンかまたは平たき鍋に入れてそろ〳〵乾かしながら狐色になる迄煎り一方に臼下を火にて解かし、塵埃を除いて、その中に狐色の碾割を入れ、次第に固まつて乾き、光澤の出るのを待つて火から下ろします。若し蓄へて置かうとならば、直ぐに罐に入れて濕氣を帶びぬやうに注意する事が大切です。一人が一度に用ふる分量は、一寸四方位のこの固りを二合の湯に入れたものが丁度よろしうございます。煎じるには金物では錆の出る恐れがありますから、成るべく土瓶に入れて、半時間から一時間の間に用ふるやうにすると、適度の味が出て居ます。飲む時は普通の珈琲同樣、好みによつて牛乳と砂糖を入れ、或はクリームを入れてもよろしうございます。珈琲は一斤七十錢位ですが、これは三十錢内外で作ることが出來ます。卽ち碾割一升九錢位、臼下一斤十四錢位で、これに燃料と手間を加へればよろしいのです。それ許りでなく費用には代へられぬ身體の爲めに著しく利益になるといふ事があります。

お八つのいろ〳〵

松宮信子

○世帶もち

△材料　ご飯、御飯茶碗に一ぱい、メリケン粉同量、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

きなこ一合、三盆砂糖少し。

△拵らへ方　お飯とメリケン粉とをよくねり合せ、つぶがなくなる位になりましたら、鍋に湯をわかして適宜の形にまるめてゆでます。浮き上りましたら、あみいゝいゝしやくしで、すくひあげ、きな粉をつけ、皿にもり、三盆の砂糖をかけ、あたゝかきうちにだします。お子さん方のお八つには大層よいものです。殊にお暑つさ時いたみかけた御飯をつかつて一寸したお菓子にすることが出來ます。

○ミルクキヤラメル

△材料　砂糖三十五匁、牛乳一合、水あめ五十匁、バタ少々、メリケン粉五匁。

△拵らへ方　メリケン粉を牛乳にてかたくねりつけ、追々薄くのばし、次に砂糖を加へ、火にかけ、かきまわしながらのりのやうになりましたら火からおろしまして、水飴をいれ、再び火にかけてよく煮つめて、バタ小匙に一ぱいを入れ、よくねり合せて、箸のさきにとり、水にいれてさまし、指先にてまるめる事の出來る位になりましたら、火よりをろし、ブリキ箱にながし、よくさまして、形にきり、パラピン紙にてつゝみます。

水飴は上ぬきといふのを用ひます。これは一貫目五十錢位で、淺草壽町二十一番地の房州屋といふ飴屋で買うとよろしうございます。パラピン紙は紙屋に御座います。

○葛まんぢう

△材料　葛一杯、砂糖一杯半、水四杯の割

△拵らへ方　右の材料を溶き、裏漉して鍋に入れ、火にかけて透明になる迄煉り、次に手に水をつけて餡につゝみ、櫻の葉で包みます。これは一番簡單な仕方です。餡は柚子餡、胡麻餡など殊によろしうございます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はたらき

文部省を訪ふの記

教育課副課長　飯田孝子

綠長い外濠の堤の柳、苔むしたる宮城の石崖、青く濁つた堀の水、何れもなつかしい江戸時代の情調が浮ぶ。私は今日守屋姉と共に文部省を訪ふのである。全國の小學校や中等學校の生徒に禁酒の必要を敎へる事と、學校內の會合に酒類を用ゐない事と、此二つを請願するために。

大手町で電車を降りて丸の內に入る。若い銀杏の青葉をすが〳〵しいと眺めながら、玉川砂利布きつめた道を、今日の願の達せん事を祈りながら、一心に歩む。

黑い塀に沿うて灰色の門をくゞる、刺を通じて要路の方に面會を乞ふと、給仕が「只今會議中ですから御待ち下さい」といつて、暗い廊下を通つてガランとした高等官應接所に通された。

庭の青葉が硝子窓に映つて、青い日影のさし入る南向の一室、是が普通學務局長室である。大テーブルを眞中に圍んで田所普通學務局長は自身を中心に、四人の視學官と會議中で居られた。「私共は矯風會の者でございます、今日はお願があつて參りました」と前置して、會の主義と今日の請願とを熱心に述べた。

「酒については旣に文部大臣から內規が出て居るのです」

「地方では行はれて居りませんかね！」

「土瓶に酒を入れて出した？　そりや酷いね」

「女の先生のお酌か！」

など〻會話は三十分餘つゞいた。折を得て視學官のお名前を伺ふ事を願つた。禁酒禁煙を實行せられて居るのは生駒先生で、鼻から盛に烟を吹きながら、大に禁酒に御賛成下すつたのは小泉先生であつた。最後に最も感謝すべき事は田所普通學務局長が、滿腔の誠意を以て此請願に御賛成下すつた事で、文部省からも適當の方法を以て、全國に訓令を出すべし。然し是等の實

行についても諸子の働きに俟たねばならぬ。宜しく此方面の活動を願ふと仰せられた事である。

午砲がなった。御多忙中面會の榮を得た事を厚く謝して、退出した。風は強いが初夏の天地は生氣に滿ち希望に漲つて居る。

＊　＊　＊　＊

左は敎育課から、全國敎育者諸君に懇願したるものであります。

吾等矯風會は社會改善禁酒禁烟の主義を稱へて玆に三十餘年天父の渝りなき恩澤によつて今日の發展を見たるは洵に感謝に堪へざる次第なり。惟ふに宇内列強の間に立ち日進月歩の趨勢に伴ひ帝國の富强人格の養成を期せんには其根底たる敎育の事業に依らずんば非ず然り而して社會舊來の惡習慣を打破し善良なる風俗を作るべき努力も又敎育に俟たずんば非ず。今日米國の十七州が禁酒したるは要するに過去に於ける結果といふべきのみ。

抑も昨夏以來歐洲戰亂の影響として遂に露國の全國禁酒令を布きたるあり。英國皇室の禁酒して範を垂れ給ふあり。米國は今後三年を期して全土禁酒せんといふ實に盛なりと謂べし。

顧つて我帝國の狀態を見るに社會百般の事業物質的進步ありしと雖も精神的道德的進步の見るべきもの甚だ少し。是等德性の涵養人格の養成は一朝一夕に爲す能はず又學校のみに於て行れざるは言を俟たずと雖も而も敎育者諸君の免るべからざる重任なる事は既に既に自覺且努力せらるゝ處今玆に本會敎育部の事業として全國の敎育者諸君に懇願せんとす。

一、小學校及中等學校其他の學校に於て校内の會合に必ず酒類を用ひざる事。

一、小學校及中等學校の生徒に飲酒の害を敎ふる事

希くば要路に活動せらるゝ諸君吾等の微志の存する處を諒察せられ深大の御同情を以て前項二箇條を奬勵せられん事を。

基督敎婦人矯風會

會頭　矢島楫子

敎育課課長　渡邊常子

同副課長　飯田孝子

猶本課長は文部省に當局を訪ひて本會の意のある處を陳述せしに田所普通學務局長は多大の贊意を表され吾等一層の奮起を得て此書を呈するに至る。

決議文を齎らして東京府知事並に新市長を訪ふ

守屋東子

決議文は出來て居る、市長を御訪問して市の御方針も伺はねばならぬ。然し東京には其市長が百日有餘もなく、市民は一向良市長の與へられんことを祈つて居

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つた。時に法學博士奥田義人氏が市長就任を承諾せられたので、早速其日卽六月十七日東京市廳に出頭して祝辭を述べ、併せて決議文に對する新市長の御意見を伺ふ。

梅雨晴のそれは暑つい日、老會頭は代理として私に行けとの御命令、果して御使を充分になし得るかとあやぶみつゝも御命令なれば勇ましく出掛けました。御就任當日といふので役所は色めいて居る。刺を通じて待つこと數時「矢島さんの代理の方御面會、――非常に御多忙ですから五分位に願ひます、」とフロック紳士の案内で市長室に入る。四五名の市吏員と御話中でありましたが、やがて皆去られました。

先づ御就任の御祝辭を述べ、續いて決議文を御覽に入れ、それに對する御意見をと伺ひました處、新市長は襟を正し最も謹嚴なる言調を以て、次の樣に御答へ下さいました。

「基督敎婦人矯風會としては勿論斯かる方針を決議されるといふ事でありませうが、市としてはまた市としての方針もあります。然し何しろ就任早々の事で御大典奉祝に關しては何等の打ち合せも致しませんが、然し今朝就任挨拶として吏員にも申述べたるやうに、畏くも先帝陛下は國家危急の際に、幼若の御身を以て帝位に上らせ給ひ、明治の隆運に向せられたるも、終始御質素を旨として過させられました今帝陛下も、また先帝の御遺志を繼がせ給ふて、皇位を繼承せさせ給ふ事なれば、東京市民は勿論全國民は奉祝の誠意を致すやうに、苟くも華美に亙るやうな事や、御祭典を利用して面白からぬ催しなどのなきやう注意するやうにと申したので、矯風會の決議は贊成であります。」

との御言葉でした。

引きつゞき府知事を御訪ねいたしました。久保田府知事は温顏を以てお迎へ下さいました。早速決議文に對する我會の主意を述べて東京府の方針を伺ひました

「一、市長も漸く今日就任されたといふやうな事で萬事これから協議するやうな次第でありますが、市の奉祝

にあたつては　陛下の行幸を仰ぎ最も嚴肅に行はうと考へて居るのであります。御大典奉祝の協議に際しては此決議文をも參考いたしませう。」との御答へでありました。本日御面會を頂き種々御多忙の際にお伺ひ致した事はあらためて起草し、全國にある同志のものに配付して、其地々々の府縣廳に持參することになつて居る旨を申述べて辭しました。
御多忙な時間に御面會下されて細々と御高見を御聞かせ下さつた、知事並に市長閣下に感謝いたします。

各地の青年部

青年部長　杉本鉞子

五月二十六日の朝、上野の停車場から水戸市へ向ひました。埃深い都の汚れた空氣ばかり呼吸して居る私は、汽車の窓から顔を出して一生懸命に新鮮な空氣の吸ひ溜をいたさうと勤めました。菅笠、赤襷姿の田舎乙女が親父の手傳とて田打の業に忙しき光景は愛らしいやうな、床しいやうな、感心なやうな氣が致しました。日頃青年部の皆様の御働き振の樣々に氣の引かるゝまゝに、これも農家の年頃の娘達よと、彼等の上にも靈肉の祝福のあれかしと天の父様に祈りを捧げました。
正午頃、水戸の停車場に着いた時、彼處の青年會の會長の鈴木様小澤様がステーションまで出で居て下さつたので、水戸市を見ない中から最早家へ歸つた氣になりました、御二人とも東京三田普連土女學校の御出身で、東京で御懇意に願つて居りましたからです。
午後一時から水戸市の高等女學校で五百人程の方に御話をいたしました。中々盛會でありました。校長先生は禁酒會々員で入しやることを後で御話になりました。
午後四時からシャプレス女史の御宅で水戸青年會が開催されました。集會された方は三十四人でありましたが、會員の數の割合に活氣は旺んで、會員方は高等女學校の生徒諸孃、近所の若い奥さん方や、御孃さん

方、女子師範學校の先生と生徒方もありました。會員方が種々の方面を代表される丈け、御働き振りも中々廣い、それに矯風會が市から餘程尊敬と同情を受けて居られる、ことに青年部の一つの活動を御紹介致しませう。市中の中央といふ場所の小さい公共運動場の如な所にも、青年矯風會の掲示が出てゐました。掲示札の恰好は公園などの掲示札と同じ恰好で、高さは四尺位、私が拜見した時の圖は先頃「國の光」に出た圖で、可愛らしい少年少女が大きな正宗の樽の中へ掃込まれ、樽の下口から出て來た時は世にも憐れな病人、乞食、盗賊あらゆる忌はしい人間の姿で出て參るのでありました。それからも一つ巡査派出所の傍にも掲示札がありました。圖は會員の小澤さんが作つたのださうです。他の青年部でも會員方の隱藝術で立派な仕事が出來ると信じます。

水戸から一時間程小さい汽車に乘つて行く港町に裁縫學校があります。其處の生徒さんも頻りに矯風會に趣味を持て居られますから、一日も早く、其處にも青年會の起るやうに祈つて居ります。

* * * *

京都のYでは動物優待課が出來ました。夏休みも近くなりました。小さい御子さん達が竿、蟲取網を持だす季節に、Yの諸嬢が此處に御氣の付いたのは誠に嬉しう御座います、無益の殺生は罪であるは勿論、弱者いじめを小兒時代に敢てすると、その性質が成長して、大人に成つた時同胞姉妹が苦界に沈むなどを一向平氣で居るやうになります。幼時の殘酷な業は小さい人々の心の玉の汚點になります。特にY會には誠にふさはしい課だと信じますから、此課の無い所では是非置いて頂きたいと思ひます。

* * * *

神戸女學院内のY會では此度新入會員が三十餘名出來ました。心から御祝ひ申上ます。慈善市で御活動の結果は會計庫も幾分ゆたかに御なりなされたさうで、本當に嬉しう御座います。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

本部

六月七日(月)午後二時より事務所に於て常置員會を開く、矢島會頭の司會にて杉本鉞子氏より決議文に關する新聞記者招待會の報告、飯田孝子氏より決議文委員會の報告、守屋東子氏より東京市内各支部聯合親睦會の報告、再び教育課副課長飯田孝子氏より小學校に酒害と喫煙の害とを印刷して書送らるゝ由の報告ありて後左の件を決す。

△文部省督學官生駒氏が禁酒禁煙を實行せられし事につき禁煙部長より祝辭を送る事。

△青年部少年部の事務所を本部事務所に合併する事につき維持費の幾分を負擔せられ度旨萬國本部に杉本氏よりスペンサー女史の承認を得て書狀を出す事。

△決議文に關する委員長を井深花子氏に、實行委員を守屋東子氏に、會計を杉本鉞子氏に、書記を藤井かう子氏に願ひ其他委員として古田とみ子、飯田孝子の二氏を選定す。

△エリス氏送別會は六月十二日と決定せしを以て市内各支部の役員、常置員及び本會に同情を寄せらるゝ方々に手紙を送る事。

△婦人ホームの設立に要する資金のため六月廿六日(土)上野音樂學校にて音樂會を開く事、右音樂會に就きてはペッチオード夫人の多大なる同情を受けし由なり。

當日の出席者は矢島、松宮、小崎、井深、島田杉本、田山、粟屋、守屋、藤井の諸氏にして他に前橋支部の松宮氏出席せらる。

久しく事務員として働き居られし森たつ子氏は今回都合により辭し度旨申出られ、一同より謝辭を述べたり。

○正誤　前號本部だよりの部、初より十三行目に會員募集とあるは金員募集中との誤りにつき訂正致します。

水戸

五月八日午後二時仲町日本基督教會に於て例會を開く、支部長ピンフオールド夫人司會の下に禮拜を以て初め事務に移り、書記前回の記錄朗讀、會計、通信書記並に役員會の報告ありて左の事を決す。

△次の例會を備前町友教會にて開く事

△本部事務所の土地買入寄附金の爲めに常磐社の祭日を期して公園に賣店を開く事

△石澤初子氏の追悼會を開く事

次に各課の報告ありて石澤氏の追悼會を開く。當日は法律課の主催なりし故會員一同其研究をなす。第一、加藤木夫人交際上に及ぼす禁酒の利德。第二、早川夫人健康及び道德に及ぼす酒害。第三、花崎夫人煙草の害。第四、堀口夫人會社員に及ぼす酒害及び人命を失ひし實例につきて。第五、鈴木すゞ健康、道德、風俗に及ぼす煙草の害及び物も用ひ方一つといふ題につきて。第六、渡邊きよの氏水戸市の或一部に有る酒屋の數の調査、其影響、賤業婦につきて。第七、神谷夫人酒と煙草との害。第八、朝比奈氏身體に及ぼす酒の害、患者につきて例を擧げらる。第九、富好夫人子孫に及ぼす酒害及び酒のため路途に迷ふ家族につきて各自五分間宛述べ次に法律課長は右の事項及び一般の法律に關して語られ、益〻法律制裁の必要を說かる。

右終りて青年部支部長より青年部の販賣部に編物なり何かの注文ありたき旨申出あり、午後四時有益なる會を閉づ出席者十八名。(鈴木すゞ子)(五月十二日常磐公園に開きし賣店につきては非常に成功されしとの記事あれども紙面に限りあれば殘念ながら省略す本部書記藤井)

下ノ關

本會役員改選の結果會長を廣津しが子氏、會計を阿部つる子氏に願ふ事に決し、書記は從前の通り黑木ま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す子に決せり。

麴町

六月十四日午後二時より事務所に於て例會を開く、矢島支部長の司會にては前回の記錄朗讀、會計の報告ありて後、本部事務所敷地買入金募集委員より種々相談の結果、金子募集法を三樣に分ち有志の方がそれ〴〵會員を受持ちて寄附金を募る事、家庭音樂會を催す事、園遊會をなす事なりしも守屋氏の提案に基き第一に會員有志の方を訪して寄附を受ることに着手する事とせり、次に維持費の會計より每月不足なれば奮起せられん事を請求す。當日の出席者は矢島、佐相川崎、樋口、加藤木、須藤、徐、山室、橋、北原、岩村、齋藤、藤井及び名譽會員守屋の諸氏なり。

大阪

五月廿八日午後二時より婦人ホームに於て當支部滿十六年、婦人ホーム滿八年の創立紀念會を開く。開會前我國社會矯風事業のため上よりの助けを乞ふため數名の祈禱あり、林支部長の司會にて馬場夫人は「義者の篤き祈禱は力あるものなり」との聖句につきて語られ會計及書記の報告後、司會者は當支部及婦人ホーム設立當時の苦心及創立以來の經歷につき語られ今後益々大阪市民のため一層の奮發を促されたれば滿堂の來會者大に奨勵を受けたり、來賓席よりホーム顧問小川博士の奨勵あり同氏は婦人の力の如何に偉大なる働に及ぼすかを說明され、又或る雜誌の禁酒論を印刷に附して學校、工場、團體等へ寄贈されし事を述べらる。次に風俗課長名出いく子氏は此度京都に於ける運動の決議文實行は勿論禁酒運動も當大阪市にとりては尤も適當の事なれば卽座に會員協議の上先づ各中學校、醫學校等の團體に於て卒先禁酒せられん事を勸告するため翌日林支部長同伴其筋へ出頭せん事を決せり。次に二宮夫人の閉會の祈禱ありて主の祈にて會を終る。出席者五十名、席上來る四月花の課の働として癩病院を訪問することに決しそのために集金三圓七十二錢を得たり（書記淸水楨子）

弘前

五月十六日午前十時より寺町美以會堂に於て母の課記念說教會を開く。山鹿牧師司式の下に同氏は聖母マリアが世界萬民の救主の母たる資格ありし事を各方面より說き、現世に於ける彼女の生涯は一見失敗に終りたる如く見ゆるも靈的方面より見る時は「目出たし、祝まるゝ者よ云々」と神より祝されたる尤も榮譽ある母なりき。諸姉が立派なる婦人となり主婦とならんには、神を畏みて世を恐れず、正義を愛し艱難を忍びて價値ある婦人となられたしとの意味にて有益なる演說を試みられたり、來會者七十餘名。

五月廿二日午後一時半寺町會堂にて例會を開く會長の司會にて吉安きせ子氏書記に代りて前回記錄を朗讀し、續いて京都に開かれし大會の景況概略を朗讀せらる、次に今回弘前美以教會に赴任せられし山鹿牧師の御一族並に暫く不在なりし前會計笹森すが子氏の爲め心ばかりの歡迎會を催し、主客互の感想を述べて樂しく散會せり、出席者十六名新入者五名（高杉つる子）

東京各支部

五月廿二日午前十時より麴町區山王境内に於て東京市内各支部聯合親睦會を開く、委員守屋東子氏の司會にて午前中左の件を議決す

一、東京支部聯合會を設立する事
一、聯合委員長を小崎千代子氏に願ふ事
一、親睦會を年に一回（大會後）となす事
一、自今後「東京」の二字を各支部に附する事
一、御卽位式に對しては出來得る丈努力して金子を集め運動の準備をなす事
一、教育課副課長飯田孝氏の發議にて當日出席の方々に各自子供の小學校を訪問して本會の主意を知らしめ一方は教員に對して喫煙、飲酒を禁じられ度旨を願ひたり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯室より

エー、エム

○すつかり暑くなりました。例年ならば此暑さを迎へると同時に大會といふ一大行事があつたのですが本年は早や時候のよい四月に舉行ずみといふので、編輯室では暑い〳〵といふ言葉の次には『有難い事、大會はすんでしまつてる』と同じ様にいふので御座います。

○決議文の運動は着々效を奏して居ります。宇都宮、呉支部では熱心に御働の模様が報導されて來ます。大阪京都もなか〳〵勢ひ隆んな御報告です。東京でも六月十七日に新市長御就任の祝辭を述べに參ると同時に御大典に對する御意見も伺ひ、會の主意をも述ました。

○御大典の爲の運動費用募集帳は、小さな氣のきいたる受取帳が作製されました。御入用な方は御申込下さい。仙臺支部は第一番に此運動の爲として金子御送付下さいました。どんなに喜びました事でせう。大阪からも運動費用の一部にと御送金がありました。感謝々々。

○只さへ狹い編輯室は近頃青年部と少年部といふ二人の子供が歸つてまゐりましたので、大賑ひになりました。これ等は今までは青山の高樹町に別に事務所を持つてゐましたが、やはり同じ家に住む方がよいといふので一處になりました。せまくはなりましたが朝夕顔を合せて喜んで居ます。

○永く事務所の爲におつくし下さつた森姉は、此度御辭任になつてお家に歸られました。夕がたになりますと會頭は前栽の水まきに御多忙です。八十三歳の老軀を更に御厭なく、昨今のやうに多忙な時は終日事務室で來客の應對、事務の指揮にお休みになる暇もありません。私共の爲にといふて毎日湯をたてゝ下さいます。

○事務所は町度角家です。前に走る電車は此月の初めから停留所を玄關前にいだしました。今に矯風會前といふ呼辭をきくやうになるのであらうと勵まされます。横丁の三會堂では英國大使館其他の令嬢夫人等の催しで大慈善會が十九日と廿六日の二日に開れました

○外國の人は其本國の爲に斯ういう企てをしてまで傷病兵其他の爲に義金を集めて送金されて居ります。其慈善市にゆかぬ事がむしろ恥辱であるやうに考へて心から高いものを喜んで買つて歸られるときゝました。

私共の仕事は如何でせう。

○お暑い時です。愛姉方の健康と幸福とを祈ります。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

interest in the welfare of woman.

The object of the meeting was to present a plea to the papers asking their aid in influencing public opinion to uphold the efforts of the W. C. T. U. in their desire to uplift humanity. In this century it is necessary to communicate with the world through the medium of papers and magazines, and as it is through the city periodicals that the country towns and villages can be reached, it is very important for us to have their support and sympathy.

As there were thirty-eight present, both men and women, of course all could not agree with every point presented. There were some heated discussions on some subjects, but on the matter that the Coronation should be celebrated in a solemn and dignified manner, all were unanimous. Also, all agreed that any good work can march forward in Japan, with comparatively little interruption, when its object is understood to be founded on genuine patriotism.

One of the fruits of the meeting was the organizing of a Woman's Press Club. We feel that this is a step upward, for, though in a club of this kind, we cannot expect the full sympathy we desire, yet the fact that a group of women writers are uniting in the study of the welfare of their own sex, is gratifying and hopeful.

The next morning's papers gave an account of the meeting, and all expressed active interest in the Union and its work. For this we are grateful, and hope to hold this interest at least until after the Coronation.

On Saturday, May 22nd, the Branch Unions of Tokyo held an all-day meeting on Sanno Hill, near Akasakamitsuke. The frowning sky and chilly air did not hinder the gathering of about seventy people, who, in a cordial spirit of fellowship, talked and discussed many subjects. Especial attention was given to plans for increasing the fund being raised for the Headquarters property, and for the work for the Coronation season. Many suggestions were made and many new ideas gained, but of course no final decision could be reached at this time. However, it was decided that a concert should be given, on Saturday June 26th in the auditorium of the Ueno Conservatory of Music. Before separating, a motion was carried that a Committee should be chosen to call upon Mrs. Saburo Shimada with a two-fold message— of congratulation and of sympathy; Congratulation on the honor conferred on her husband, by his election to be President of the House of Commons, and sympathy for her in her new position of responsibility.

WOMAN'S HERALD.

(Fujinshimpo)

CURRENT TOPICS.

The Educational Department of the National Union is to be congratulated on having for its new Vice-President such an able and active worker as Miss Iida. Not only is she a graduate of the High Normal School, but she is also a teacher in the Friends Girls School. Miss Iida believes strongly that total abstinence should be the rule among all workers in the Educational field. In this she has most practical sympathy from Misa Moriya, the leader of the L. T. L., who for some years past, has been planning a campaign among the teachers of the public schools. These two ladies took the first step in this great work, by calling at the Mombusho, (Department of Education,) and asking for the assistance of the authorities. Miss Iida, believing that a touch of personal interest would bring favorable results, requested the members to give her an opportunity to hold interviews with the presidents of public schools under whose charge are placed the children of the members. In this she received hearty encouragement. Every public school holds Parent's Meetings each month, to which the parents are not only invited, but *obligea*, to be present, in order that a perfect understanding may exist between the home and the school. These meetings offer a splendid opportunity for influence of this kind to reach both parents and teachers, and through this channel lies hope for greatly improved educational conditions for the children of coming years.

On the 5th of May, Madam Yajima, accompanied by her Secretary, Mrs. Fujii, made a trip to Utsunomia. Mrs. Fry, a missionary there, with other members of the Union of that town, have for some time been working for the abolition of the Brothel system. Being supported by these earnest White Ribboners, our President had a friendly interview with the Governor of the Prefecture. She strongly presented her views concerning the system, and ernestly requested him to use his influence toward its abolition.

At 10.30 on the morning of Friday, May 14th, an Editor's Gathering was held at Headquarters. Three days previous, fifty invitations had been sent out to the Society Editors of the principal newspapers of the city, and also to many Magazine editors who have shown an

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、水、木、金、午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電話番町六二番
東洋内科醫院
院長 醫學士 高田畊安
南湖院
電話ちがさき二番
相州茅ケ崎海濱（従停車場半里）
河野高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

（明治四十五年六月廿五日第三種郵便物認可）婦人新報第二百六十六號（大正四年六月廿八日發行 毎月一回發行）

ライオン齒磨

特長

粉末の極めて細微なる事。
成分の均等齊整せる事。
防腐殺菌制酸の偉力ある事。
齒牙口腔を科學的に清掃する事。
香味色觸、總て快感に富める事。
價格、國民衛生普及に適當なる事。

本誌定價一部金六錢